



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2018/11/1発行

第55号

3期生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

NZの自然の中でありのままを受け入れる、人生で初めての体験！



日本ベンジャミン人間性英才学校
3期生 池亀 慈子さん

在学2年目になる池亀慈子さんは、2018年8月ニュージーランドで行われたグローバルリーダーシップキャンプに参加したことで「人生を変えたとも言える大きな成長を経験したそうです。」

現在19歳で大学にも通う池亀さんは、本校生徒の中では最年長です。しかし自分より年下の生徒の方が大人びていて発表や礼儀においても長けていると感じ、自己嫌悪に陥ることが何度もあったそうです。年長者らしく振る舞おうとするとみんなと距離ができて、かえって周りとの自分の間に壁を感じてしまうこ

ともありました。そんな自分を変えてリフレッシュするために「絶対に何か掴んで帰ってこよう」という思いでこのキャンプに参加したそうです。



「澄んだ空気と広い空、牛や羊を放し飼いでいる草原。夜には、絶対日本では見られない数の星の美しさ。そんな大自然に囲まれてほんとにほんとに心が癒されて、体も癒されて、幸せな気持ちになりました」

「数日、大自然の中で過ごすところ、どこか開放感ができて自分が幼くなったように感じて、気づけばみんなと対等で年齢を気にせず話している自分がいました。ただただ、みんなと話したり

騒ぐのが楽しくて、そんな自分が見つく好きなんだとわかりました。そのとき、今まで壁を作っていたのは「自分」で、対等に接してこなかったのは全部自分だったということに気づくことができました。『すこし幼くてもいいかもしれない』とありのままの自分を受け入れることで、その瞬間をみんなと楽しく過ごすことができました。これは私にとっても、人生を変えたとも言える大きな成長でした。ほんとにほんとにニュージーランドに来てよかったと、何度も思います。今後の目標は、地球市民リーダーボランティア(※1)としてもう一度NZに行くことです」



ベンジャミン学校では、知識で伝えるだけではなく、自分で気付く「メタ認知能力(※2)」が育つ環境やトレーニングを提供しています。自分で自分を分かち、自分で選択して新しい自分を創造していくことが、真の人間性英才だと考えています。



※1 NZのECO本部が行っているボランティアプログラム
※2 自己の認知活動(知覚、情動、記憶、思考などを客観的に捉え、評価した上で制御すること)

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

